

## 委員会等の会議録

1 会議名	令和4年度 愛南町農林業振興懇話会	
2 議題	(1) 農林課事業の施策及び体系等について (2) 鳥獣害防止対策について (3) 愛媛お手伝いプロジェクトについて (4) その他	
3 開催日時	令和5年3月24日(金) 13:30~15:05	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 第2会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	太田 吉彦、善家 華奈子、酒井 眞理子、下田 健二、河野 仁、新井 英男、清水 広幸	
7 担当所属	所属名	農林課、農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	課長 吉村 克己 課長補佐 吉田 直喜 所長補佐 岸本 貴士 課長補佐 田村 智之
8 その他の 出席職員	所属名	愛媛県南予地方局農業振興課地域農業育成室 愛南農業指導班
	出席職員 (職・氏名)	主幹 伊藤 博章
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
吉村課長	(開会挨拶)
吉村課長	<p>本日の協議事項についての全ての資料の説明が終わりましたら、最後に質疑応答、意見交換をお願いしたいと思います。それでは、3の協議事項(1)として、農林課事業の施策状況と体系等について 事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 田村	(農林課事業の施策状況と体系等について説明)
吉村課長	<p>続いて、協議事項(2)として、鳥獣害防止対策について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 吉田	(鳥獣害防止対策について説明)
吉村課長	<p>続いて、協議事項(3)として、愛媛お手伝いプロジェクトについて 事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 田村	(愛媛お手伝いプロジェクトについて説明)
河野委員	<p>平山地区の水利施設等保全高度化事業について、現在の電気代が高騰している状況を考えると事業完了後の水利施設の電気代が負担になると心配していますが、水利組合への電気代助成のような支援は可能でしょうか。</p>
吉村課長	<p>現在、事業計画を県のほうで策定しております。その中で、使用面積や運転時間からどの程度の電気代になるのか積算を依頼しているところです。例えば、大久保山土地改良区のように受益者から使用料を徴収し、土地改良区が電気代を支払っていくということも考えられます。現状でのお答えはできかねますが、令和9年度の開始までには、どのくらいの負担になるのかということも含め把握した上で、協議など進めていく必要があると考えております。また、太陽光などの再生エネルギーを利用するなど、そういった何らかの補助も活用することにも目配りしながら、進めていく必要はあると思います。</p>
新井委員	<p>最近、補助事業によるワイヤーメッシュなどの防止柵が普及したことにより、農家さんからあまり鳥獣の被害を聞かなくなっています。実際のところ増えていると思いますが、現在、どの程度増えているか被害状況について教えてください。</p>
事務局 吉田	<p>最近では、シカの被害が増えている代わりに、イノシシの被害は減っているという状況から、被害状況は変わっていないもの</p>

発言者	発言内容
吉村課長	<p>と認識しています。</p> <p>追加で説明させていただきますと、猟友会やわなの会への有害鳥獣の捕獲奨励費として4千万円弱をお支払いしています。捕獲の状況としては、ここ数年横ばいであると認識しています。ニホンジカについては、愛媛県で統計の数字を出しており、今後も増加していくものと想定されていますが、ワイヤーメッシュなどを活用されていることや、まだ山にシカの餌があるなどの理由から現状維持ができているものと考えております。今後、ワイヤーメッシュに関しては、10年くらい前から支給をしていますので、今後補修の時期が来ると考えております。要望があれば、そういう補修材についても取り扱おうと考えておりますので、農協のほうへ、もしそういったお話があれば、町のほうに相談してくださいと御案内していただければと思います。昨年度からドブ付けのものを支給しており、長くもつものに変わりつつありますが、それまでのものであれば、耐用年数も15年くらいだと思いますので、時期を見ながら適切な更新を行っていただき、自己防衛に努めていただきたいと思います。</p>
河野委員	<p>痛んだところをイノシシが潜って、ちょっとしたらシカも入ってくるようになっていきます。補修材としてアンカー的なものを打てば、そこから入ってくることは少なくなると思いますが、そういった資材は、要望があれば国が製作したりできるのですか。</p>
吉村課長	<p>材料については、ワイヤーメッシュの下を折り込むなど利用して、入って来ないように防ぐ方法があると思いますが、現場によってはそういう施工が難しく、木杭などで設置していることも多く、下を掘って入ってきたりもするようです。今後要望があれば、まだ目にしたことがないアンカー材料なども検討し、国の補助要綱も確認した上で、その補助や起債を活用しながら、原材料の支給について考えていきたいと思っております。</p>
善家委員	<p>柑橘の苗木に関しては、植えた苗木へのウサギの被害もあるので、何か有効な対策はありますか。</p>
吉村課長	<p>ワイヤーメッシュをしているのであれば、その下側にネットを巻くという方法もあると聞いています。鉄製のネットがあるなども聞いています。それでも、効果がないということであれば、地区要望を出していただければ、先ず現状の検証を行い、予算の範囲にはなりますが、理事者への相談の上、有効な対策</p>

発言者	発言内容
太田委員	<p>を考えていきたいと思います。</p> <p>以前、ワイヤーメッシュを支給していただき、田んぼごとに設置をしていますが、最近はすごく潜って入られる。既に張ったところに、また張るということは可能ですか。例えば、地区全体に張るとかはどうでしょうか。</p>
吉村課長	<p>菊川地区、平山地区は地区全体で張っていますが、これらの地区は、山からの侵入があるということで、そのようにしています。状況を確認させていただきながら、どういう方法がいいのか、張り方など、地元の方が一番良く分かっていると思いますので、聞取りをしながら必要な距離がどのくらいなのかなど話を進めていくようになると思います。</p>
太田委員	<p>最近、道とか橋も渡ってくるので、広い範囲を張るようになると、林道や農道をゲートで塞ぎきってしまうのは、どうなのでしょう。</p>
吉村課長	<p>愛南町の中では、現在平山から長月に抜ける林道でしています。町道は生活道ですので難しいが、林道でやっているものは、通る方皆さんの御理解をいただきながらしております。また、新しい方法で、まだ愛南町では行っていませんが、柵の手前にグレーチングを設置するとそこに足が入って折れてしまうことが怖くて通らなくなるという中国四国農政局の検証を行った資料もありますので、事業費の検証もしながらそういう方法も考えていきたいと思いますので、また御相談ください。</p>
河野委員	<p>果樹経営対策ですが、モノレールの補助は、レールだけすることも可能ですか。</p>
事務局 田村	<p>既存のレールを伸ばす場合、伸ばすことによって新たな受益地を確保できるのであれば、可能ということは確認しております。新設の場合については、確認して回答させていただきます。</p>
吉村課長	<p>その他、本日の会全体を通して何か御意見、御質問等ありませんか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
吉村課長	<p>御意見等ないようですので、以上をもちまして、本日の懇話会の協議日程を終了させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本日の会の進行に御協力いただき</p>

発言者	発言内容
事務局 田村	ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。  (閉会)